

学校HP記事ピックアップ

<令和4年度 ①>

<https://www.sths.ed.jp/>

令和4年4月18日発行

新年度が始まりました！

本校HP記事からピックアップして紹介します。
ぜひ学校HPをご覧ください。



4月6日 令和4年度 着任式・始業式

4月6日（水）、令和4年度 着任式・始業式を行いました。

着任式では、着任された25名の職員について、校長先生から一人一人紹介いただきました。

引き続き始業式では、校長先生から次のような式辞をいただきました。

『令和4年度が始まりました。新2・3年生のみなさん、進級おめでとうございます。本日午後には、夢と希望を胸に、1年生320名が入学します。2年前、1年前、どんな気持ちで入学式を迎えましたか。「初心、忘るべからず」入学時に抱いた決意を振り返り、毎日を大切にしていきましょう。これから始まる新年度が、みなさんひとりひとりにとって、有意義なものになることを願っています。』

みなさんは、「未見の我」という言葉を聞いたことがありますか？

「未だ、見たことのなかった自分を目指しなさい。心は熱く、一生に一度くらい、本気でやってみなさい。必ず達成します。運命をつくりなさい。」これは、松下村塾を主宰し、明治維新で活躍した若者たちに多大な影響を与えた吉田松陰の言葉だと伝えられています。

人は誰でも、自分の中に自分の知らないすばらしい自分が眠っている。しかし、人は皆、自分の中にある能力のほとんどを使わずに、まして気付くことさえないままに、その人生を終えてしまうのだそうです。人生とは、未だ出会ったことのない自分、試練を経て成長した先にある新たな自分を求める旅であると言えるかもしれません。

「未見の我」に気付くためには、自分自身を深く見つめ直し、外部の刺激に触れ、何かに本気に取り組むことが大切です。本気に取り組む時だけ、内に眠っている才能が発揮されます。その結果が成功であれ、失敗であれ、未だ見ぬ自分に出会えた時に、人は感動し、成長した自分に気づくはずです。偉人と呼ばれる人々の伝記を読んでも、その偉業のきっかけのほとんどが、「未見の我」との出会いにあることがわかります。

「未見の我」と出会うために、『微差』は『大差』を実践することをお勧めします。「自分の周りをいつもきれいにする」「人にはいつも笑顔で接する」「常に前向きな言葉を使う」「自分のやることに少しのこだわりを持つ」等々、ひとつひとつはどれも難しいことではないし、誰にもできることです。こうした「微差」を積み上げていくと、やがて大きな成果を生み出すことになります。いきなり最初から大きなことを成し遂げようとしなくとも、まず、こつこつと、自分にできる「微差」を積み上げていしましょう。毎日ワクワクしながら、充実した高校生活を送り、それぞれが「未見の我」との出会いを楽しみに挑戦して欲しいと願います。私たち教職員一同、「チーム科学技術高校」として、心から応援しています。私は、みなさんの授業や部活など、生き生きと頑張っている様子を、時間の許す限り見て回りたいとおもいます。その節はよろしくお願いします。』



新任式



始業式

未
見
の
我

4月6日 令和4年度 入学式

4月6日（水）午後、令和4年度の入学式を行ないました。新型コロナウイルス感染予防のため、昨年に引き続き例年より時間を短縮し行われました。まず今年度の新入生（全日制320名、定時制9名）が起立、校長先生から入学の許可をいただきました。続いて校長先生の式辞があり、新入生に向け次のようなメッセージが送られました。

『満開の桜が咲き誇り、春爛漫のこの良き日に、御来賓、役員の皆様のご臨席を賜り、令和四年度入学式を挙行できますこと、教職員を代表して厚く御礼申し上げます。厳しい入学者選抜試験の中、みごとに合格を果たし、本日、大きな志を持って入学された、全日制の課程320名、定時制の課程9名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。また、お子様の成長を温かく見守り、本日をお迎えになられた保護者の皆様に、心からお祝い申し上げます。』

皆さんの高校生活の出発にあたり、「夢に向かって、人生を切り開く」ということについてお話したいと思います。

新入生のみなさんのなかには、将来の夢を明確に持っている人がいる一方で「これから自分の夢を見つけたい。」と考えている人もいます。「夢をかなえたい」と言いつつも、自信をもって「本気で取り組んでいます」と胸を張ることができなかったり、「夢を見つけたい」と言いながら、「見つけようとして具体的に動いていない」ということはないでしょうか。そこで、イギリスの作家で医師、サミュエル・スマイルズ（Samuel Smiles）が著した『自助論』の内容を要約して一部紹介させていただきます。

「夢に対して、ただあこがれているだけでは、その夢はしぼんでしまう。夢を夢で終わらせないために、たとえ一回でも勇気を出してやってみる、まずは動き出してみる。夢に向かって踏み出したその一歩は、自分が思っているよりも、ずっと大きな意味がある。しかし、実際に動いてみたら、すぐ壁にぶちあたってしまうことだってあるかもしれない。でも、それは本気で挑戦したからこそ、わかること。壁があることを知ったから、それを乗り越える方法を探すことで、前よりずっと夢に近づくことができる。」

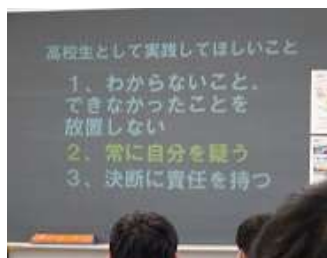
科学技術高校では、「目指せ！ 理系のスペシャリスト」を合言葉に、毎日ワクワクするような高校生活が送れるよう、私たち教職員は「チーム科学技術高校」として一丸となり、皆さんの夢の実現に向けて全力でサポートしていきます。お願いいたします。』

最後に、新入生代表による力強い宣誓が述べられました。

『本校の生徒となった喜びと、これから始まる高校生活への期待で胸がいっぱいです。これからの3年間新たな仲間とともに、勉学に励み、本校の生徒にふさわしい知識や技術を身に付け、今日から本校で過ごすかけがえのない一日一日を、大切にしたいと思います。今までと違う新しい生活様式の中で始まる新たな学校生活を、新入生一同それぞれが見据える目標に向かって、日々精進していくことをここに誓います。』



御入学おめでとうございます。



4月7日 2年生 学年集会

4月7日（木）LHRの時間、2年生は学年集会が行われました。

まず学年主任の先生から2年部の先生の紹介と学習習慣の確立、コミュニケーション能力の向上、進路の具体化、生活習慣の定着の4つの目標について話がありました。その後、研修課の先生から実用英語技能検定（英検）取得と英語研修についての説明がありました。最後に、コミュニケーション能力の向上のために生徒会副会長の生徒とロボット工学科の代表生徒がスピーチを行いました。学年全体の前でしたが、2人とも堂々としており大変上手に話をしていました。

4月8日 3年生 進路に関する学年集会

4月8日（金）のLHR、3年生に対し進路に関する学年集会が行われました。まず全員が体育館に集合し、新たに3年生の指導をしてくださる先生方の紹介が行われました。

次に学年主任の先生から下記のような話がありました。

「最終学年になり卒業まで残り325日となりました。人生の岐路に立っているということを意識して生活しましょう。また、民法が改正され成人年齢が引き下げられました。3年生のみなさんは誕生日を迎えると成人として扱われます。成人となるとクレジットカードの契約やアパートの賃貸契約なども可能になります。加えて、もしも犯罪に手を染めると実名報道される立場となりました。みなさんにとって犯罪は身近なものではないと感じるかもしれませんが、自転車での交通事故やSNSでのトラブルなどに気を付けてください。甘い勧誘などにも注意してください。新学期から暗い話をしてしまいましたが、この1年間で更なる自己投資を行い、進路実現している姿を見せてください。楽しみにしています。」その後、研修課長の先生から実用英語技能検定（英検）取得と英語研修についての説明がありました。最後に、進路課長のお話があり、理数科はクラスで、工業科は体育館で就職希望者と進学希望者に別れ、各々進路課の先生から進路実現に向けた準備の話をいただきました。

4月8日 1年生 学年集会

4月8日（金）に、1年生は体育館において第1回の学年集会が行われました。まず学年主任の先生から、2点お願いがありました。①教室で8:20のチャイムを落ち着いて聴けるようにしてほしい。保護者の方が朝早くお弁当を作ってくれているので、不注意で間に合いませんでしたということがないようにしてほしい。②各クラスの顔と名前を覚えて、友達を作ってください。同じ中学校から来た人がいると心強いが、新しく科学技術高校の生徒になったので、新しい友達を作って学校生活を充実させてほしい。

引き続き各課の先生方から、学校生活における注意事項等、下記のような話がありました。

【生徒課】「中学校とは生活が大きく変わる。入学のしおりと生徒手帳にルールが書いてあるので、しっかり読んで確認してほしい。頭髪については決まりがある。いろいろな企業や大学の方が話しに来てくださる。また、実習等で機械や薬品を扱うので、安全面でも髪の長さに気をつけてほしい。」また、スマートフォン使用上の注意、私物の管理、いじめへの対応について説明がありました。

【進路課】「進路通信を配布したが、もう読んだでしょうか。入学してからの進路選択や部活動についてかいているので、まだ読んでいない人がいたらまず読んでほしい。今後の進路についてまだ決めていない人もいると思うが、科目選択もあるので家の人と相談して進路を決めてほしい。」また、勉強と部活を両立し高校生活を充実させることや、土曜講座の申し込みについて、自分の進路を考慮して決めてほしいと話がありました。

【教育相談室】「高校生になって楽しいこともあり良い面もあるが、大きな変化はみなさんにストレスがかかる。つらくなった時やしんどくなった時に皆さんを助けるのが教育相談室。”しんどい”とか”少しおしゃべりしたい”と思ったら教育相談室（愛称：オアシス）にぜひ来てください。」また、教育相談室の先生の紹介や、スマートフォン使用上の注意について話がありました。

【研修課】「英検の申し込み用紙をもらっていると思うが、ぜひ1年生のうちから挑戦してほしい。進学や就職にも役立つし、英語力を高めることができる。また、海外研修について、昨年度から新型コロナウイルスの感染防止のため海外に行くことができないが、今年度は国内でイングリッシュサマーキャンプを行い、アウトドア要素も取り入れ楽しく英語研修をする。興味がある人は、説明会もあるのでぜひ参加してほしい。」

【教務課】「成績について、テストだけでなく授業態度も考慮し評価するが、著しく結果が良くないと1年生から進級できない（原級留置）ことがあるので、常に勉強を続けてほしい。」

また、1年生は、LHRの時間に自転車点検を行いました。ブレーキのかかり具合、ベル、スタンドなど確認し、合格した人からシールを貼っていきました。工業高校生として自分で点検・修理できるようになると家計に優しく嬉しいですね。



4月15日 対面式

4月15日（金）LHRの時間に、校内放送を使い対面式が行われました。

まず、生徒会長から新入生に向けてメッセージが送られました。「新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。在校生一同、新入生のみなさんを心から歓迎します。みなさんと一緒に学校生活を送れることを、とても楽しみにしていました。科学技術高校では、文化祭や体育祭が大規模に行われ、内容も充実しているので、中学校とは異なる多くの体験ができると思います。また本校には、本格的な機械を用いた実習や、様々な種類の部活動など、特徴的なものがたくさんあります。休み休み時間や放課後に、新しくできた友達と学校を回ってみると、新しい経験を通して、自分の新たな一面に気が付くきっかけが得られるかもしれません。ぜひ、本校での日々を大切に、充実した時間を過ごしてください。そして、身に付けた知識や技術を、みなさんが描いている夢の実現に役立ててください。私たち2・3年生とも、素敵な思い出を作っていきます。わからないことがあれば、何でも聞いてください。」



続いて、新入生代表から入学にあたっての抱負が述べられました。

「4月6日、期待に胸を膨らませて、私たち新1年生は本校に入学しました。晴れて科学技術高校の生徒となり、新しい仲間たちとともに高校生活を楽しんでいます。私の将来の夢はものづくりに関わる仕事に就くことです。新しい技術や素材、製品などを開発して社会に貢献したいと考えています。そのために授業や実習に前向きに取り組み、成長していきたいと思います。これから部活動や蒼穹祭など楽しいことがたくさんあります。わからないことや不安なこともあります、ここで出会えた先輩方、先生方、そして同じ学年の仲間たちと一緒になら、乗り越えられると思います。高校3年間を充実した素晴らしいものにするために、一日一日を全力で楽しもうと思います。本日はこのような式を開いてくださり、ありがとうございました。これからよろしくお願いいたします。」



学校HPを随時更新しています。ぜひご覧ください！

☆「目指せ！！ 理系のスペシャリスト」☆ 科学技術高校